

令和3年度第1回教育研究評議会議事要旨

日 時 令和3年4月7日（水） 15時50分～16時45分

場 所 オンライン会議（Zoom 活用）

出席者 25名

穴沢学長、江頭理事（総務・財務担当副学長）

鈴木理事（教育担当副学長）、近藤副学長

高橋評議員（保健管理センター所長）、副島評議員（言語センター長）、

平沢評議員（情報総合センター長）佐野評議員（CGS 教育支援部門長）、

プラート評議員（CGS グローカル教育部門長）、

李評議員（CGS 産学連携推進部門長）、小林評議員（国際連携本部長）、

劉評議員（経済学科長）、乙政評議員（商学科長）、

才原評議員（企業法学科長）、大津評議員（社会情報学科長）、

片桐評議員（現代商学専攻長）、齋藤評議員（アントレプレナーシップ専攻長）、

沼田評議員（一般教育系学科主任）、中島評議員（経済学科教授）、

伊藤評議員（商学科教授）、河森評議員（企業法学科教授）、

加地評議員（社会情報学科教授）、中川評議員（一般教育系教授）、

ホルスト評議員（言語センター教授）、

小林評議員（アントレプレナーシップ専攻教授）

議事に先立ち、前回4月7日開催の教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 教員の採用について

穴沢学長から、審議資料1に基づき、CGS 産学官連携推進部門起業活動支援プログラム等担当任期付き教員の採用について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2. 国立大学法人小樽商科大学における教員の任期に関する規程の一部改正（案）について

穴沢学長から、審議資料2に基づき、国立大学法人小樽商科大学における教員の任期に関する規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については4月19日開催の役員会に附議する旨発言があった。

議題3. 緑丘工房株式会社との連携協定の締結について

穴沢学長から、審議資料3に基づき、緑丘工房株式会社との連携協定の締結について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、本件については4月19日開催の役員会に附議する旨発言があった。

続けて、穴沢学長から、調印式については4月下旬を予定しており、調印式の実施内容については、引き続き緑丘工房株式会社と調整を進めていく旨発言があった。

その他

審議終了後、穴沢学長から、前回の教育研究評議会にて、サバティカル研修後に退職する教員への対応については検討させていただきたいと発言していたが、退職する教員に対し、これ以上何か対応をすることはない旨発言があった。

また、穴沢学長から、サバティカル研修に関する規程については見直しを検討する旨発言があった。

発言後、評議員から主として以下の意見等があった。

○統合後のサバティカル研修の運用について確認したい。

→本学のサバティカル研修については、基本的に本学において運用することになる。

○サバティカル研修後に退職する教員の発言への対応について、学部・大学院合同教授会の場で何らかの説明が必要ではないか。

○学部・大学院合同教授会の構成員の教員に誤解を与えないためにも説明する必要があるのではないか。

○教育研究評議会において適切に議論が行われたことを説明する必要があるのではないか。

→いただいた意見等を踏まえ、次回の学部・大学院合同教授会で説明することとしたい。

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、5月12日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する。

以 上